

平成30年度秋田県少年少女陸上競技大会 兼 第34回全国小学生陸上競技交流大会秋田県予選会 要項 (案)

- 1 主催 (一財)秋田陸上競技協会
- 2 後援 (公財)日本陸上競技連盟 (公財)安藤スポーツ・食文化振興財団
秋田県教育委員会 秋田市教育委員会 秋田魁新報社
- 3 会場 秋田市八橋陸上競技場
- 4 期日 平成30年7月1日(日)
 - ・ 9:00 引率者打ち合わせ
 - ・ 9:30 競技役員打ち合わせ
 - ・ 10:00 開始式
 - ・ 10:10 競技開始
 - ・ 16:00 競技終了(予定)
- 5 競技種目 (男子) ○5年生100m ○6年生100m ○80mハードル
○4×100mリレー ○走り高跳び ○走り幅跳び
○ジャベリックボール投げ △1000m
(女子) ○5年生100m ○6年生100m ○80mハードル
○4×100mリレー ○走り高跳び ○走り幅跳び
○ジャベリックボール投げ △800m
※備考
・○の種目は全国大会で実施 ・△の種目は秋田県大会のみ実施
- 6 参加資格
 - (1) 参加者は小学校5、6年生の年齢に該当する児童であること。
 - (2) 参加者は郡市レベルの予選会を経て、郡市陸上競技協会長の推薦を得たリレーチーム、個人とし、保護者の同意を得た児童とする。
 - (3) 選手の所属先として「○○小学校」の名称を使用してもよいこととする。
- 7 参加制限
 - (1) 郡市ごとの参加枠は個人、リレーともに最大で6とする。
 - (2) リレーと単独種目に重複して出場することはできない。
 - (3) リレーは1チーム4～5人の編成とする。
- 8 競技規則 本大会は2018年度日本陸上競技連盟競技規則と、本大会要項ならびに申し合わせ事項によって実施する。ただし、児童の年齢を考慮した教育的な配慮も行う。
- 9 競技方法
 - (1) 競技に際してはオールウェザー用のスパイク(ピンの長さは9mm以下)かシューズを使用すること。素足での競技参加は禁止する。
 - (2) スタートはクラウチングスタートを原則とするが、スタンディングスタートも認める。スタートで同じ競技者が2回不正スタートをした時に、その競技者を失格とする。
 - (3) タイムレースでは、同記録の場合に写真判定主任が写真を拡大し、より細かく判定して決勝進出者を決める。それでも決められない場合は抽選とする。
 - (4) 男子1000mは、グループスタートで実施する。
 - (5) リレー競技においては、そのチームで同一のユニフォームを着用する。
 - (6) リレー競技のマーカ使用は1カ所とし、マーカは各校で用意する。使用したマーカはそのチームで処理する。
 - (7) リレー競技のテークオーバーゾーンは、本年度からのルール改正通り30mとする。従来の10mの補助ゾーンの開始線(ブルーライン)からテークオーバーゾーンとする。
 - (8) リレー競技の補欠の選手を対象として、男女とも100m友情レースを実施する(出場者を大会当日確認した後、番組編成を行う)。

(9) 80mハードルは男女とも以下の規格で実施する。

スタートから第1ハードルまで	高さ	インターバル	台数	最終ハードルからフィニッシュまで
13m	70cm	7m	9台	11m

(10) 走り高跳びは、バーの上げ方を5cmごととし、順位を決定する場合は2cmとする(ただし1位から3位まで)。最初の高さは競技開始前に跳躍審判員が指示する。

(11) 走り高跳びは「はさみ跳び」により実施する。マットへの着地は足裏からとし、背や腰からの着地は無効試技とする。

(12) 走り幅跳びとジャベリックボール投げは、大会特別ルールにより3回の試技で順位を決定する。

(13) ジャベリックボール投げは、男女とも以下の内容で実施する。

使用球	競技場所	投てき角度	助走距離
ジャベボール	ヤリ投げピット	ヤリ投げと同じ	15m以内

試技の際には、ボール本体を持ち、オーバーハンドスローで投げることとする。

10 表彰 各種目の3位までにメダル、8位までの入賞者に賞状を授与する。

11 全国大会等への出場資格

(1) 本大会の優勝者、優勝チーム(中距離種目を除く)を全国小学生大会の秋田県代表とする。

※ 全国大会出場選手は、大会前に行われる事前合宿練習会に必ず参加すること。

※ 全国大会は8月17日(金)～18日(土)、神奈川県・日産スタジアムで開催する。

※ 男子1000mと女子800mは全国大会で実施しない。

(2) 本大会の個人種目2位、3位の選手を、東日本都道府県交流大会の秋田県代表とする。

※ 東日本大会は8月5日(日)、北海道函館市・千代台公園陸上競技場で開催する。

※ 男子1000mと女子800mは1位～3位の選手を選考する。

(3) 辞退者が出たり事情があったりする場合の代表選手の選考は、主催者で判断し決定する。

12 参加料 一人1200円とする。

13 参加申込

(1) 所属団体ごとに、各郡市陸上競技協会が指定した申込書、保護者承諾書、参加料を郡市陸上競技協会へ提出する。

(2) 郡市陸上競技協会は、必要書類を取りまとめ秋田陸協普及委員長宛に6月14日(木)必着で送付する。また、参加料を一括して秋田陸協のゆうちょ銀行口座に振り込む。

※振込先 ゆうちょ銀行 「振替口座」02560-0-3828

加入者名 「秋田陸上競技協会」

(3) 保護者承諾書は、郡市の代表が大会当日持参し、一括して本部に提出する。

14 その他

(1) ナンバーカードは主催者で用意し、プログラムと一緒に大会当日7時30分より競技場内で配付する。尚、プログラムは参加各クラブに1部、参加選手全員に1部を配付する。

(2) ナンバーカードは、配布されたままの大きさと針や糸、安全ピンを用いユニフォームの胸背部に確実に固定する。また、トラック競技に出場する競技者は、招集所で配付する腰ナンバーをランニングパンツ右側の上部やや後方につける(シール式)。

(3) 大会終了後、全国小学生大会及び東日本都道府県交流大会出場選手の引率者(又は保護者)による打合せ会を実施するので、関係者は必ず出席する。

(4) 上記両大会出場選手の事前合宿練習会について、日程等詳細は(3)の打合せ会で連絡する。

(5) 競技中に事故が発生した場合、主催者は応急処置のみ行うので、以後の対応は引率者が実施する。(所属団体ごとにスポーツ安全保険等に加入することが望ましい。)

(6) 個人情報取り扱いについて法令を遵守しつつ、大会の資格審査、プログラム編成及び作成、記録発表、その他競技運営に必要な連絡等に利用する。

(7) 八橋陸上競技場での練習に関しては、前日の午後(13:00～16:00)と当日朝(8:00～9:00)のみ開放する。ただし、ボール投げの練習は当日サブグラウンドでのみ実施可とする。また、前日の走り高跳びの練習は、雨天時の場合マットを使用した練習はできない。

(8) 大会の競技日程、駐車場利用に関するきまり、陸上競技場の練習及びスタンド使用に関する注意などは、秋田陸上競技協会のホームページに掲載する。

(参加選手と保護者、関係者は必ず確認しておくこと。→6月25日(月)掲載予定。)